

# 伊予三島ロータリークラブ

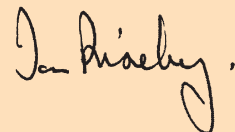


初冬の金砂湖・嶺南地方

## ロータリー:変化をもたらす

事務局 四国中央市金生町下分865 四国中央商工会議所内  
<http://www.iyomishima-rc.jp> TEL(0896) 58-3530  
 E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp FAX(0896) 58-6294  
 例会 金曜日 12:10~13:10  
 ■会長/桂 高司 ■幹事/佐藤慎輔 ■広報委員長/石川 勉

Rotary: Making a Difference



2017-18年度国際ロータリー会長

No. 20

平成 29.11.17  
第 3065 回

## SAAの時間

SAA 井原 伸



今週は、SAA担当の例会行事の時間を頂いております。  
 テーマは自由と聞いておりますので、ロータリー財団月間にちなみ先週に引き続いての財団の話と、短期交換プログラムにつきましてお話させていただきます。  
 先週と重複いたしますが、今年度100周年を迎えたロータリー財団の使命は  
 ① 健康状態を改善する  
 ② 教育の支援を高める  
 ③ 貧困を救済する であります。

時代に適応したロータリー財団に変化するため、2013-2014年度に「未来の夢計画」が立ち上げられました。これによりグローバル補助金が新設され、年間を通じて申請可能となったのです。地区補助金は、クラブ計画・申請・承認がすべて前年度に行われ、分配率と使用内容が変わり、補助金が大幅に増加致しました。

2670地区におきましては  
 2016年11月13日 2017-2018年度補助金内容検討委員会開催  
 2016年12月 4日 2017-2018年度補助金管理セミナー開催  
 2016年12月10日 2017-2018年度補助金管理セミナー開催  
 されております。

この補助金管理セミナーの出席は、「補助金制度」参加が資格認定の条件ですので、該当する会長・幹事・財団委員長の出席が必要です。

財団に寄付を施行していますので、面倒な手続きですが申請をし、補助金を自分たちのお金として地域活性化のためにも十分に利用することが肝心です。ただ、漫然とした活動だと今までの補助金配分の見直しなどもあり、単年度ではなく長期間戦略計画による活動方針を立てることなど、これからの方向性を決めなくてはなりません。

また、グローバル補助金による留学生については、ロータリー奨学生申請の資格無き者の条件、海外に制限された留学などについて、今後、柔軟性を取り入れた運営を検討する必要があるのではないのでしょうか。

## 国際短期交換プログラム（青少年短期交換プログラム）について

今を去る40年前1978年、2670地区梶浦パストガバナーと米国ニュージャージー州北部にある1740地区ロス・レイモンドパストガバナー並びにスベン・ジョンソン氏らの尽力により、両国間での夏休みを利用した学生交換ホームステイプログラムが 第1期国際短期交換プログラムとしてスタート致しました。

中止になったのは、過去に3回あります。

2003-04年度・SARS、2009-10年度・新型インフルエンザ、2011-12年度・東日本大震災です。その年度以外は、1978年スタートより今日まで両国合わせて2000名以上の学生が参加し、彼らの中にはこのプログラムに参加したことがきっかけで、将来の進路を決定し、現在両国内で活躍されている方も多数おられます。私事ですが、私の家内も娘（次女）もこのプログラムで、お世話になりました。

四国からの派遣学生募集は、毎年ガバナー月信1月号で告知され、同年3月10日をもって募集締め切りとなっております。派遣チームメンバーは、1名のロータリアンがチームリーダーとなり（夫婦の場合は2名のチームリーダー）さらに、チームリーダーをアシストするアシスタントリーダー（ロータリアンでなくともよい）の1名もしくは2名を含め、派遣学生と合わせて合計30名迄のメンバーを構成して派遣プログラムを実施致します。

派遣期間は、例年7月下旬もしくは8月初旬に日本を出国し、約3週間ニュージーランド北部の3ブロック内での各家庭でのホームステイとなります。派遣チーム定員が、チームリーダーを含めて30名迄となりますので、各クラブより推薦された学生は、次期ガバナー補佐・分区委員による分区面接、さらに地区最終選考面接並びにオリエンテーションを経て、地区最終選考面接合格者が正式な2670地区派遣学生となります。各クラブより推薦される学生は高校生以上の、IAC（申込時、中学3年）、RAC会員（大学生を含む）もしくはその他の推薦学生です。ロータリアンの子息も参加可能です。帰国後、学生達には各自感想文を提出していただき、これらを1冊の報告書にまとめ、2670地区事務所、推薦クラブ、推薦学校の関連した機関へ配布します。また、推薦クラブ例会に出席し、御礼ならびに報告を致します。

ニュージーラーからの受け入れチームも四国チームと同様の構成メンバーとなり、6月下旬もしくは7月初旬の来日となります。両国間の受け入れ期間と派遣期間が重なることはありません。京都、大阪、広島等の観光を含め四国4県を約3週間、各県ごとに1家庭につき2名1組の学生の受け入れをしております。受け入れを最初に行う県ではウェルカムレセプションを開催し、さらに各県ごとに受け入れ式での学生たちのホストファミリーへの引継ぎを行います。最後の受け入れ県では、受け入れ最終日にフェアウェルパーティー（さよならパーティー）を開催し、受け入れ学生との更なる交流を図ります。

2670地区国際奉仕短期交換小委員会は、国際奉仕委員会、短期交換委員長、8名の交換委員（増員する場合もある）のメンバーで構成されており、プログラム実施にはガバナーエレクト、次期ガバナー補佐、次期地区幹事ほか多くのロータリアンによって実施されております。毎年1~2月に第1回委員会をスタートさせ、プログラム実施までの約半年間、受け入れ並びに派遣のプログラムが同時に進められています。特に次期ガバナー補佐並びに短期委員の皆様によって会場設営、ホストファミリー選定、派遣学生面接、人数調整、スケジュール調整、学生たちの資料作成等、数多くのお世話をして頂いていることを最後にご報告させていただきます。

## 第3065回 例会 記 録 平成29年11月17日

開会 桂 高司 会長 ニコニコ紹介  
 松山RC柳谷葉一様~本日はよろしくお願ひします。  
 野村証券の松山支店長です。  
 株は今日も上がってます！  
 来賓紹介 佐々木紙工(株) 代表取締役 佐々木弘実 氏  
 来訪ロータリアン紹介 井原 伸SAA~本日の例会行事よろしくお願ひ致します。  
 (松山) 柳谷葉一 氏  
 出席報告 誕生祝~今村栄子様  
 出席会員(37名中) 28名  
 出席率 82.35%

会長の時間  
 幹事報告  
 例会行事  
 SAAの時間  
 井原 伸 SAA

12月1日プログラム予定  
 年次総会  
 次年度理事選出